

とろろパー



2021年7月16日

No. 74

公益社団法人
小山町シルバー
人材センター

〒410-1326
静岡県駿東郡小山町
用沢345-1
小山町シルバーワークプラザ内
TEL (0550) 78-0011
FAX (0550) 78-0868

拓やま

～生きがいを求め、地域に奉仕～



誓いの丘より

目次

- 2 ・ごあいさつ
・事務局だより
・行事予定
- 3 ・定時総会
- 4 ・7月は「安全・適正就業
強化月間」です
・傷害保険及び
賠償責任保険について
- 5 ・賛助会員のご紹介
・俳句 ・短歌
・新会員の紹介
・会員募集
- 6) ・特別寄稿
7) ・サークル活動
- 8 ・特集 七面山ハイキング
・編集後記

ごあいさつ



理事長

白井義雄

紫陽花が日増しに濃さを増して、夏本番の季節を迎えるところとなりました。日頃、シルバール人材センターをご利用頂いている町民の皆様、各企業並びに町行政等の関係者の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、令和二年度の事業概要について、まず会員の状況ですが昨年同時期より二十一名減って百五十四名となり、ここ数年来の減少に歯止めがかけられない残念な結果となっています。会員も年々高齢化を迎えて平均年齢も七十五・九歳となり、若い（六十歳代）入会希望者が大変少なくなっています。シルバールの仕事には草刈り、植木の手入れ、草取り、清掃、企業への派遣事業等、軽微で簡単な仕事がたくさんあります。又、各種サークル（ゴルフ・園芸山野草・ハイキング・生活文化・パークゴルフ等）活動も活発です。

入会をいつでもお待ちしております。つぎに、売り上げ実績ですが、先ず派遣事業については前年度並みでしたが、受託事業は会員の減少が大きく影響し、また、富士山入山規制等があり、昨年度対比で二七％の大幅な減少となりました。事業収支については、百十九万円と若干の黒字決算となっています。

諸事業についてはコロナ禍のために、各学区毎の奉仕活動は実施されませんが、富士山の一斉清掃、親睦旅行、シルバードイのイベント等は残念ながら中止となりました。会員総会については昨年同様に書面評決で無事議決できました。また、令和三年二月に小山町シルバール人材センターが、会員はもとより大勢の皆様を支えられ、設立三十周年を迎えることが出来たことを感謝申し上げますとともに、二十年以上在籍された会員の功労者表彰会を実施したことをご報告いたします。

本年度も引き続き厳しい事業運営になると思いますが、会員の皆様を始め町民の皆様のご支援ご協力を頂きながら、高齢者にとって魅力ある、地域にとっては存在感のあるシルバール人材センターを目指したいと思っております。結びに、小山町が東京オリピックの自転車競技の開催地になったことをお祝い申し上げます。

事務局だより

梅雨明けも間近になり、青葉が目まぶしい今日この頃、会員の皆様に於かれましては、日頃より当センター事業に、ご理解ご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

さて令和二年度の事業実績は、元年度同様厳しい状況で、対前年で二七％の減収となりました。要因と致しましては、道の駅ふじおやま清掃業務・富士山須走口五合目関係業務中止等が大きな理由です。平成二十六年から始めた派遣事業は、ほぼ前年並みに推移しています。

現在の会員の在籍者（令和三年六月末日現在）につきましては、前年同期より二十一名減の百五十五名となっております。今後会員の増員を皆様方と一丸になり、より一層邁進していこうと考えております。

町民の皆様も「シルバールはどんな処・何をしているのか」など、興味

のある方は、当センターへのご来訪・ご連絡等お待ちしております。

令和三年度の行事予定も、例年通り計画しておりますが、新型コロナウイルスの影響で先行き不透明です。本年度も引き続き厳しい事業運営になると思われませんが、皆様方のご協力の元、健全な運営が行われる様、職員一同力を合わせてまいります。

最後に会員の皆様方には、これから暑さ本番の中での作業になります。健康管理・事故等には十分ご配慮の程宜しくお願い致します。

行事予定

七月

- ・七月一三日 お飾り作り委員会
- ・七月一六日 第二回理事会
- ・七月二〇日 支部長班長会議
- ・七月二七日 安全委員会・パトロール

八月

- ・役員合同会議

九月

- ・支部毎の奉仕活動



公益社団法人 小山町シルバー人材センター 令和3年度 定時総会

(公社)小山町シルバー人材センター令和3年度第10回定時総会は、令和3年6月18日、新型コロナウイルス感染予防のため書面表決により役員と表彰者代表の参加を得て開催されました。

令和2年度事業報告、収支決算報告及び令和3年度事業実施計画は、156名中129名の賛成をもって原案通り承認されました。

◎令和3年度事業実施計画

1. 安全就業の徹底
2. 派遣事業の推進
3. 会員確保の推進
4. 就業開拓の推進
5. 普及・宣伝活動の推進
6. 研修・講習事業

◎事業実績 (契約の状況)

契約金額 119万円
(前年比27%減)



功労者表彰 (敬称略)

- 白井 和芳 (成美)
- 齋藤 晃 (北郷)
- 渡辺 保全 (北郷)
- 白井 正雄 (成美)
- 池谷 規子 (北郷)
- 岩澤 英子 (明倫)
- 岩田 和幸 (成美)
- 宮下 清美 (須走)
- 小松 正志 (成美)
- 内田 裕 (須走)
- 谷 文夫 (明倫)
- 松田 絹代 (北郷)



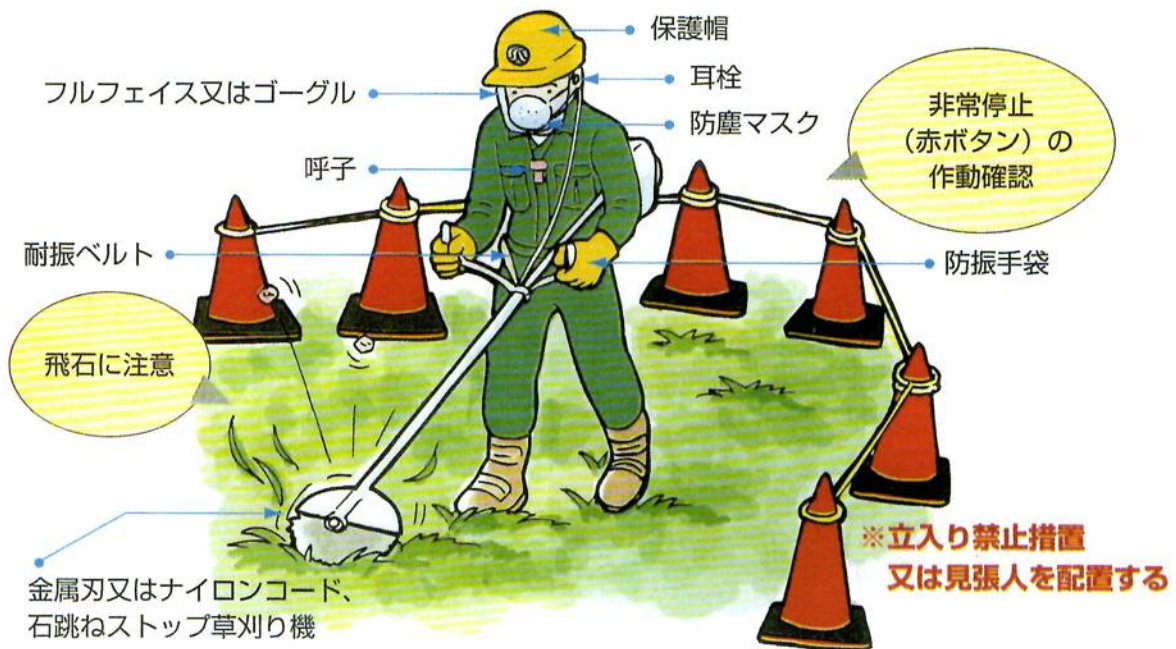
7月は『安全・適正就業強化月間』です。

シルバー会員は「安全はすべてに優先する」を基本として、会員の心得十ヶ条を念頭におき、日々作業に励んでいます。「安全は宝物」をスローガンに、皆さん充分気を付けて作業にあたってください。



安全委員長
葛城 春夫

刈払い機を使用するときは…



※移動する時はエンジン停止又はアイドリング状態で行う
庭木、縁石まわり、フェンス際の刈払いには、ナイロンコードカッター等を使用する

傷害保険及び賠償責任保険について

業務に従事している会員が業務中に事故により被った傷害に対して保障されている金額は次の通りです。

傷害保険

死亡・後遺障害	500万円
入院日額	3,000円
通院日額	2,000円

賠償責任保険

対人1名	3,000万円
対人1事故	1億円 (免責1万円)
対物1事故	1億円 (免責1万円)

1万円は個人負担です

賛助会員のご紹介

ご支援に感謝申し上げます

(順不同・敬称略)

- 御殿場農業協同組合 北郷支店
- ユーサンガスケツト(株)
- 富士総業(株)
- B・Rサーティワンアイスクリーム(株)
- 財団法人 富士霊園
- TOTO(株) 東富士研修所
- (株)イケヤ
- 宗教法人 勝福寺
- (有)駿東自動車
- エビスLLC
- (有)小山葬祭
- 小山スズキ販売(株)
- 御殿場農業協同組合 小山支店
- 野田惣金物店
- (有)中川商店
- フジボウ愛媛(株)
- 社会福祉法人 小山町社会福祉協議会
- 宗教法人 正福寺
- ユシロ化学工業(株) 富士工場
- 富士薬品工業(株) 富士小山工場
- 小山茶寮
- (株)ゴルフサービス
- (株)タイショーテクノス

新会員の紹介

～元気でガンバります～
よろしく

氏名	地区
梶本 生代	成美
廣瀬とみ子	北郷
高橋 忠幸	成美

会員数 155名
 男 88名、女 67名
 (内7名はゴールド会員)
 6月30日現在

短歌

下小林 大矢 幸子

分けてやる楽しみもありて路を煮る
 じっくりとやわくおふくろの味に

右に巻き左に巻きて振花の
 我がを立てて夏至の芝生の中に

俳句

小山 米重 初枝

鶯や ほうと息する喜寿の朝
 梅雨晴れや ワクチンを打つ人の波
 今年竹 皮脱ぐたびの青さかな

小山町シルバー人材センター 会員募集

(公社) 小山町シルバー人材センターでは、町内にお住まいの高年齢者で働く意欲があり、健康な皆様のご入会をお待ちしています。

- 年齢/60才以上の方で、男女は問いません。
- 賃金・就業時間等/シルバー人材センターの規定によります。
- できれば自分で通勤が可能の方。(詳細は面談時に)



お問い合わせ
 (公社) 小山町シルバー人材センター
 小山町用沢345-1
 小山町シルバーワークプラザ内
 ☎78-0011 FAX 78-0868



特別寄稿

戦争を生き抜いて

小山町下小林

大矢 幸子



昭和十六年（一九四一年）四月、私は就職のために中国に渡った。十七歳の春である。生家の熊本を出て下関港から乗船、玄界灘の荒波では食事もとれぬままに一晚を過ごし、翌朝青島に着いた。

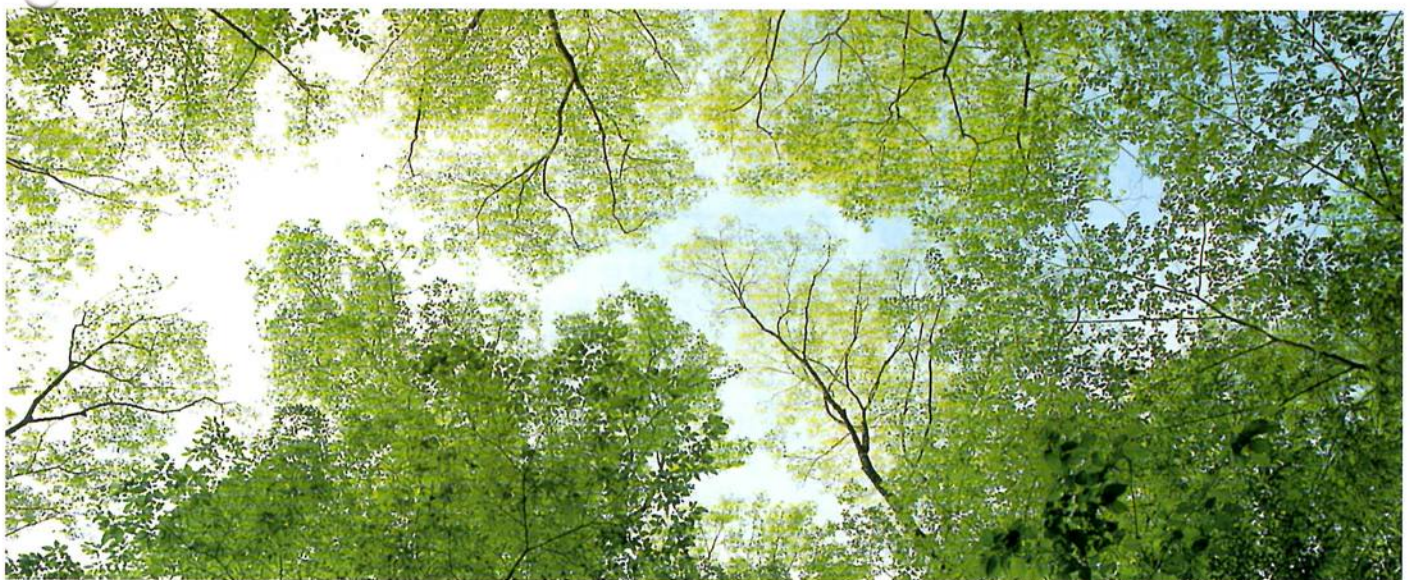
街では纏足（昔、中国で、女性の足に子供の時から布を堅く巻き付け、大きくしないようにした風習）をした女性があちこちで見られ、よちよちと子供の様な歩きをしていた。道路の両側には、丸めて平らにした人糞が干してあり、悪臭を放っていた。燃料にするのだと迎えに来た兄が説明してくれた。

北支那に鉄道を敷設する鉄道局に入社して四年。現地は割と穏やかな毎日だったが、太平洋戦争が激しくなったころ、鉄路工廠が爆撃され間もなく終戦、中国人の態度は一変し恐怖と不安の中での勤務が幾日も続いた。沿線に助勤に行っていた私は、列車の不通で帰ることができず、不安の毎日だったが、日頃面倒を見ていた現地の中国人が親切に世話をしてくれて、人の情けが

しみじみと嬉しかった。

昭和二十一年（一九四六年）、現地引き揚げが始まる。財産はすべて放棄、所持金僅か一人千円、荷物は制限され、身の回り品だけでアルバムやおしゃれ着は諦めるほかなかった。いくつかの梯団（大部隊の移動などの際、便宜上いく群かに分けた、その各群）が結成され、結婚したばかりの私の夫は別の梯団の役員となった為、二人は離れることになり、引き揚げの前日はたくさんのおはぎを作って食べた。二月末、私は男の服装をして引き揚げの第一歩を踏み出す。済南の站（宿駅）に着くと待っていたのは貨車だった。乗車して落ち着く間もなく、何人かの兵が乱入し拳銃を突きつけては腕時計、ズボンのベルト、外套等を略奪していった。人々は息を殺し、泣く子供の口を塞いで寒く暗い夜を過ごした。

済南から青島までの引き揚げの日々は、不安と空腹と疲労の連続だった。無蓋車（貨車の一種）で地方の兵に幾度も襲われ、トラックで通行する時も、先々で通行料と



して人々の持ち物が次々と消えていく。現地の人までトラックに飛び乗ってきては、みんなの持ち物を奪っていき、病人が掛けている布団の綿を取り出して盗んでいった。寒道を幾日も歩きパン一個の日もあって、病弱の父がいたので心の休まる日はなかった。

ある人は、引き揚げの途中に亡くなったお母さんを仕方なく野中に埋葬され、翌日、その場所を通ると何匹もの犬が集まっているのが見えたが、どうする術もなく、ただ呆然と黙って通り過ぎた。

また、ある若い母親は、途中で息絶えた乳児を背負って歩き続けた。

青島に着いた三月末、私たちは米倉庫を掃除して、寄せ集めた砂混じりのお米でむすびを作りみんなに配った。やっと佐世保に上陸、生きて帰れたと思った。検疫で頭から薬(DDTノミ、シラミなどを駆除する強力な殺虫剤で現在は使用禁止)を掛



けられたあげく帰郷する列車は異常に混雑し、通路も連結部分も人で溢れていた。

義母の実家に身を寄せたのが丁度雛のお節句で、いただいたお餅で命が蘇った。そして夫の郷里へ。義父の知人の物置を借りて帰国後の一家の生活が始まった。義父母は知人の家を探ねて食料を分けてもらったが、農家でさえも不足していた時代で思うようにはならず、千円の金はたちまち消えていった。私は毎日野の草を採って粥に炊いたが、碗の粥の中に米粒は数えるほどだった。

貸してあった少しばかりの田畑を返してもらい、まず早く食べられる物から作ることに。初めての農仕事で何も判らず近所の人に教えてもらいながらの毎日だった。私は親戚の家に百姓の見習いに通ったが、力ばかりでは思うようにできず泣く日が多かった。

よそ者と陰で諺られながらも農の仕事を覚え、生計の足しに田植えの出稼ぎ、水車を借りて薬を打ち、筵織りや俵作り、縄作りをした。それらは子供の正月の晴れ着に代わっていく。

病弱だった義父が亡くなり、子供が学校に通う頃には戦後も大きく変わり、世の中も安定して私もこの地に根付いていく。戦争を知らない人たちに、非戦の思いを込めて綴りました。

サークル活動

今年度は新型コロナウイルスの影響でサークル活動が思うようにできませんでした。コロナ終息を待って活動開始したいと思います。

パークゴルフ部
部長 齋藤 晃

生活文化部
部長 松田 絹代

ゴルフ部
部長 長田 守男

ハイキング部
部長 池谷 廣美

園芸山野草部
部長 小島 常譽



7月1日、古布切りの作業を皆で行いました。福祉施設へ贈られます。



六月十二日、コロナ対策を万全にして実施しました。前回の雨畑ダムに行く途中から入るのが七面山です。日蓮宗総本山「身延山久遠寺」に属し、身延山を守護する鎮守神として七面大明神を祀っています。全国からの多くの方が宿泊する宿坊があり、境内からは富士山や駿河湾が一望できるとの事です。

七面山（一九八二m）の頂上までは、二丁目から五十丁目敬慎院まで一丁ごとに石柱が立てられています。

登山の前に、羽衣橋対岸にある、白糸の滝と「お萬の方」像に拝礼して出発です。登山道は広く、杉の太木に囲まれ、葉が扇形に広がるクジャクシダや苔が多く神秘的です。

十三丁目の肝心坊で昼食を取り下山しました。帰りに「道の駅なんぶ」で地元の食材を食味してきました。

特集

七面山ハイキング
ハイキング部



募集!

山梨県立
富士山世界遺産センター
河口湖浅間神社

日時 十月二十三日(出) 午前九時
シルバー人材センター集合

参加費 三千元

持ち物 昼食、飲物、雨具、マスク

申込み 十月四日(月)までにシルバー事務局へ

雨天決行

帰りに「トライアル」スーパーで買物をします。また、部員以外の方の参加もお待ちしています。

編集後記

今回もコロナ禍で各行事が中止となる中、ハイキング部で富士山世界遺産センター、河口湖浅間神社ハイキングを計画していただきました。偏にコロナの終息を願うばかりです。

編集委員

- 小島 常馨 池谷 廣美
- 大矢麻津子 坂本 正子
- 岩澤 英子